

単元構想シート

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

安心して住み続けられる町とはどんな町だろう。

② 単元を貫く問い（単元を通して考えを深めていく「問い」）

命を守るためには何が大切だろう

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・わたしたちの町の安心・安全に関わる工夫は、どのようなものがあるだろう。
- ・熊野町の中で、安心・安全につながる人・もの・ことについて知りたいな。
- ・病院ではどんなことに気をつけているのかな。
- ・老人ホームの役割や工夫について、詳しく知りたいな。
- ・害獣・消防・交通に関する工夫についてもっと調べたいな。
- ・熊三小の下級生が安心・安全に暮らすために私たちに何ができるだろう。

「わたしたちの町について調べよう」

- ①わたしたちの町の安心・安全に関わる工夫はどうなっているのか、学習計画を立てる。
- ②熊野町の中で、安心・安全につながる人・もの・ことについて調べる。（フィールドワーク）
- ③詳しく知りたいことを整理して、調べる。
- ④調べたことを整理して、伝える目的や伝える相手、伝える方法を考えて発信する。
- ⑤私達が見付けた安心・安全に関わる工夫は、災害時に命や暮らしを守ることができるのか考え、2学期への課題意識をもつ。

第4学年 「総合的な学習の時間」 学習指導案

指導者 山下 緑

- | | | |
|---------|---|-----------------------|
| 1 日 | 時 | 令和6年 6月25日(火) 第4校時 |
| 2 学年・学級 | | 第4学年(男子14名 女子8名) 計22名 |
| 3 単元名 | | 「わたしたちの町について調べよう」 |

4 単元について

(1) 単元観

近年日本各地で起きている自然災害やそれに伴う被害の様子から、学校での防災教育が重要になっている。広島県内には土砂災害危険箇所が約32,000箇所もあり国内で1番多い。平成30年には熊野町においても家屋の損壊だけでなく人的な被害も発生している。災害発生時に備えてマイタイムラインを作成したり、避難経路を確認したりするなど自分の命を守るために、個人の防災意識を高めることが大切である。本単元では、過去の土砂災害について調べたり、地域の関係機関や人々が自然災害に対して様々な協力をして対処してきたことを調べたりすることを通して、町や住民が協力し安心して暮らせる町を作っていこうとしていることを知っていく。その気付きから自分たちにできることは何か話し合ったり、学習したことを保護者や地域に発信したりしていく学習意欲へとつなげ、自分たちの生活との関わりを考えることを通して、地域の中で命を守るための安心・安全について考えていく単元として設定する。そして、これはSDGsにおける「住み続けられるまちづくりを」を学べる単元でもあると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、毎年、マイタイムラインを作成したり、避難訓練を経験したりと災害時には命を守るために避難したりすることの大切さについて考えてきた。しかし、実際に避難行動に移したり持ち出し袋を備えたりする経験が少ないなど知識と行動にはズレがある。また、3年生までの学びでは、新聞やパンフレットにまとめて発表する中で、情報を収集する力、気づきを発表する力は身に付いてきている。しかし、話し合いを基に課題を設定したり、集めた情報を整理・比較・関連付けて考えたりする力はまだ十分付いているとは言えない。

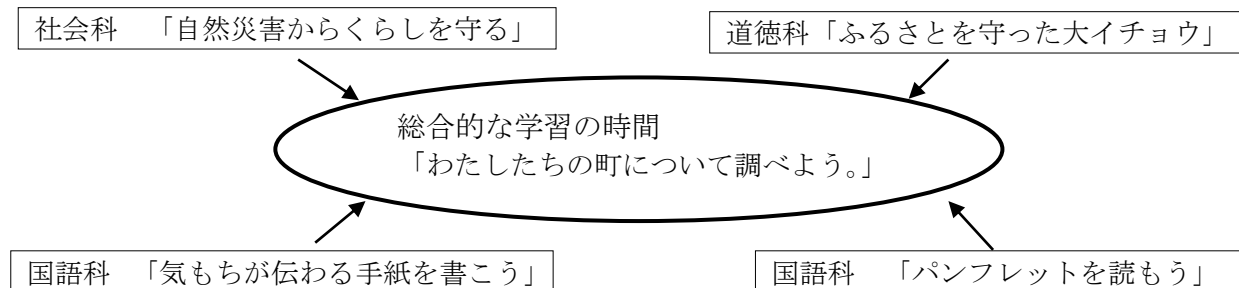
(3) 指導観

指導にあたっては、わたしたちが安心・安全にこの町で暮らすことができていることに気付かせ、具体的な取組を行う必要性を実感させる。災害時以外の日常の中でわたしたちが安心・安全に暮らすことができているのは、どのような工夫があるからなのか、フィールドワークを通して気付いたことから課題を設定する。本単元では、介護付有料老人ホーム「隣ご縁熊野」や介護老人保健施設「熊野ゆうあいホーム」の見学や、大瀬戸内科の方の話、インターネットで調べたことから情報を集め、自分たちの生活との関わりを意識させ、意見交換する場を設定しながら、私たちの安心・安全の裏にはたくさんの工夫があることに気付かせたい。更に知るだけでなく自分達にできることを考えていき、今後の生活に具体的な行動として生かしていけるようにしたい。単元の最後に、自分達が学んだことをグループごとにまとめ、下級生へ発信して、地域の中で命を守るための行動の第一歩とさせたい。

5 単元の目標

熊野町の安心・安全につながる人・もの・ことについて調べることを通して、自分たちの安心・安全な暮らしはさまざまな工夫で守られていることが分かり、学んだことを生かして自分たちの安心・安全を守るために、自分たちにできることを考え、下級生に発信することができるようにする。

6 単元の構成



7 指導計画 (26 時間)

(時間)	学習活動	他教科との関連	評価方法
1. 熊野町の安心・安全について知ろう (3)	課題の設定 ・わたしたちの町の安心・安全に関わる工夫はどうなっているのか話し合う。 ・自分たちの安心・安全な暮らしはどのような工夫で守られているのか学習課題を立てる。 ・学習課題を解決するための学習計画を立てる。		発言、行動観察、ワークシート
2. 熊野町の安心・安全について調べよう (10)	情報の収集 ・熊野町の中で、安心・安全につながる人・もの・ことについて調べる。(フィールドワーク) ・詳しく知りたいことを整理し、地域にある施設の見学や、施設の方へのインタビュー、インターネットを通して調べる。 ・病院ではどんなことに気を付けているのか調べる。 ・老人ホームの役割や工夫について調べる。 ・害獣・消防・交通に関する工夫について調べる。 整理・分析 ・学習課題を確かめ、調べてきたことを振り返る。 ・調べたことを整理する。 ・私達の町の安心・安全のために自分たちにできることを考える。	道徳科 「ふるさとを守った大イチョウ」 国語科 「気もちが伝わる手紙を書こう」	発言・インタビュー メモ・ワークシート 行動観察
3. 学習したことを整理してまとめ、発表の準備をしよう (9) 【本時15/26】	まとめ・表現 ・調べてきた取組の中から、自分が特に大切だと思うものを選び、テーマ別にグループに分かれ、学習内容を整理して発表の準備をする。	国語科 「パンフレットを読もう」	発言、ワークシート
4. まとめたことを、発表しよう (2)	まとめ・表現 ・ブースに分かれて、調べてまとめたことや考えを伝え、私達の町の安心・安全について関心を高めてもらえるように工夫して発表する。		行動観察 ワークシート
5. 振り返りをしよう (2)	振り返り ・私達の町の安心・安全について、学習を通して学んだことを振り返り、今後の課題作りへの見通しをもつ。	社会科 「自然災害からくらしを守る」	発言 ワークシート

8 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の 評価規準		分かる・できる力	表現力	向上心	思いやり
		・熊野町の危険なところや安心・安全なところはどんなところか理解している。	・熊野町の安心・安全について調べたことや自分の考えなどを、相手や目的を意識して書き表したり、伝えたりしようとする。	・熊野町の安心・安全について学習したことを基に自分たちにできることなどを考えようとしている。	・友達と関わりながら取り組み、問題解決しようとしている。
評価規準	1		①災害時ではなく、日常における自分たちの生活に着目して見出した問いを学習問題として表現している。	①生活の中で安心・安全と危険を感じることを話し合い、それらを基に問いを見出している。	
	2	①見学やインタビューメモや写真から自分たちの安心・安全な暮らしはさまざまな工夫で守られていることを理解している。		②熊野町の安心・安全について自分たちにできることなどを考えながら調べている。	
	3		②熊野町の安心・安全について学習したことや考えたことをどのような表現方法で伝えるのか、自分の考えと理由をまとめ伝えている。		①友達と関わりながら取り組み、発表に向けて準備しようとしている。
	4		③調べたり考えたりしたことを図・写真・言葉などで分かりやすく表現して、熊野町の安心・安全について下級生に伝えている。		
	5	②多くの人の努力で安心・安全が守られていることに気づき、自分は何ができるかまとめている。		③互いの考えの良さに気づき、もっと地域の人に知ってもらいたいという思いをもつ。	

9 単元の評価基準

		A	B	Bに到達させるための手立て
分かる・できる力	①	さらに調べたいことを見出しながら調べ、理解しようとしている。	自分たちの安心・安全な暮らしはさまざまな工夫で守られていることを理解している。	調べたことを比較したり分類したりしながら整理して示し理解できるようにする。
表現力 (本時)	②	グループで表現方法を選ぶために、自分の考えと理由を友達の考えと比較したり付け加えたりしながら整理して相手に伝えている。	グループで表現方法を選ぶために、自分の考えと理由を伝えている。	出された考えと似ている考えか違う考えかを見付けながら、自分の考えを伝えられるようにする。
向上心	①	熊野町の安心・安全について経験や知っていることを基に知りたいことを整理して、学習問題をつくっている。	熊野町の安心・安全について知りたいことを整理して、学習問題をつくっている。	熊野町の安心・安全が自分たちの生活にどのような影響を与えているのか具体的に想像させて考えられるようにする。
思いやり	①	友達を助けたり友達の考えや思いを理解したりしながら発表に向けて取り組んでいる。	友達と関わりながらまとめ、発表に向けて準備しようとしている。	友達の考えを聞いたり、協力して準備をしたりできるようにする。

10 本時の展開 (本時 15/26)

(1) 本時の目標

下級生に「わたしたちの町は安心・安全に生活できる地域だ」と思ってもらうためには、どのような表現方法がいいか話し合って決めることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の姿	指導上の留意点 (・) 評価の視点 (☆)
導入	1 本時のめあてを確認する。		
	下級生に「わたしたちの町は安心・安全に生活できる地域だ」と思ってもらうためには、どのような表現方法がいいか話し合って決めよう。		
	2 前時に自分で考えておいた方法を確認する。	○自分で考えた表現方法と理由を確かめましょう。	・自分の意見がもてるようにあらかじめ方法と理由をカードに書いておく。
展開	3 方法を考えていく上で気を付けたいことを交流する。	○表現を決める時に気を付けたい視点は何か。 ・1番知らせたい内容に合った方法を選ぶ。 ・下級生が「安心・安全」を感じるものにするために、分かりやすく伝えていきたい。 ・親しみがもてるように楽しい発表にしたい。 ・写真やイラストを使って具体的に分かるようにしたい。	・前時までに各班でまとめた伝えたい内容を掲示し、話合いの途中でも確かめられるようにする ・どの表現方法にするか理由を聞き合いながらメリット・デメリットを出し合って比較しながら絞っていくようにする。

	4 グループでどんな表現方法にするか話し合う。 5 全体で交流する。 6 グループで整理する。	○自分たちのグループはどの方法にするか話し合いましょう。 クイズを交えた動画がいいね。写真を入れると分かりやすいし、伝えたことをクイズにすると楽しく復習もできるよ。 ○グループで出た悩みや、これなら上手く伝わると考えたことを理由も話しながら交流してみましょう。 ぼくたちはパンフレット作って、説明しながら見てもらいます。でも、どうしたら興味をもって見てもらえるか悩んでいます。 それなら下級生も楽しめそうだね。 ○みんなの考えを参考にして、グループの考えを修正してみましょう。 今日はまだ一つの考えにまともらなかったから、二つの方法を合わせて考えて決めよう。 説明の後、下級生にどう感じたか、話してもらいたいね。	★どのような表現方法がよいか、自分の考えと理由を伝えている【表②表現力】 (話合いの様子、ワークシートの観察) 途中でクイズを入れてみるのはどうですか。
まとめ	7 まとめをする。 8 振り返りをする。	○今日の学習をまとめましょう。 ・分かりやすく伝えて、実際にできそうだと思うてもらえる方法を決めることができた。 ○今日の学習を振り返りましょう。 ・これまで考えてきたことを下級生に楽しみながら知ってもらえるように次回から準備を頑張りたい。	・振り返りを通して、次時以降の意欲と見通しがもてるようにする。